



園児がのこった！のこった！

8月2日、明智町千畳敷公園春日野記念相撲場で、入間川部屋の力士と園児の交流会が行われました。明智と吉田保育園の園児70人が土俵上で力士に挑戦。数人で「お相撲さんを倒すぞ！」と、周りから「がんばれ！」の声援の中、体当たりでぶつかって勝利すると「やったあ！」と歓声が上がりました。また中にはあまりの大きさに逃げ回る園児もいました。園児らは「大きくて強いけど優しくかった」と、力士との交流を楽しみました。

◀力を合わせて必死に力士を押し出す園児

澄ヶ瀬^{やな}築に園児を招待

8月4日、上矢作町の澄ヶ瀬築で上矢作保育園の園児56人が水遊びを行いました。

これは、澄ヶ瀬築組合（松岡昭雅会長）が毎年夏になると園児を築へ招待し、暑さをしのぐとともに、鮎の塩焼きや五平もちを味わってもらおうと20年ほど前から行われている行事。鮎は炭火で1時間程じっくり焼き上げるため、頭からしっぽまでまるごと食べられます。また五平もちも作りたてを配り、園児らは「全部食べちゃった」と満足気でした。

矢作川の清流で水遊びを楽しむ園児▶



野菜たっぷり！中南米料理

7月29日、中公民館調理室でエルサルバドル料理教室が開催され18人が参加しました。

講師には来日3年目、大井町在住の岩川マリアさんを迎え、チキンスープ、アボカドサラダ、ピラフ、トルティーヤを習いました。

エルサルバドル料理はそれほど辛くないのが特徴で素材の味を生かすため、塩を中心に味付けをしました。参加者は「野菜がたくさん入って、味もさっぱりしたものが多く、とてもおいしい」と、異国の味を学びました。

◀トルティーヤの生地作りを真剣に眺める参加者たち

本格的炭焼き窯が完成

7月29日、串原の奥矢作湖畔に整備された奥矢作湖・炭焼きの里で記念イベントが開催されました。矢作ダム水源地域の3県4市村で組織する「矢作水源フォレストランド協議会」が、ダムへの流木を炭に再資源化し、地域の活性化に役立てようと炭焼き窯などを整備。奥行き約3㍓、幅約2㍓、高さ約1㍓の炭焼き窯「湖畔窯」、ドラム缶を活用した体験用の「やはぎ窯」3基が設置され、子どもらが序幕などを行いました。

本格的な炭焼き窯「湖畔窯」の序幕をする子どもたち▶



浮世絵と玩具を楽しむ

8月5日と6日、中山道広重美術館で浮世絵を楽しむ「なつやすみ☆こどもびじゅつかん2006昔のおもちゃをつくろうよ！」が開催され、約60人の子どもが参加しました。

展示室では、さいころを振って浮世絵をヒントに問題を解いて進むすごろくを体験。

またベニヤ板と割りばし、紙を使った玩具「パタパタ」を作成しました。子どもらはあちこちでパタパタと音を立てながら、出来上がったからくりおもちゃを楽しみました。

◀板の張り合わせに気をつけながらパタパタを作る子ども



魔法のガラスアート

8月1日～25日の間、恵南クリーンセンターあおぞらで小学生サンドブラスト教室が開催され、期間中90人が参加しました。この教室では、コップなどガラスの器にシールやペンで、好きな模様を付け、その上から機械で細かい砂を吹きかけ、すりガラス状にします。最後に水ですべて洗い流せば、透明の模様が浮き上がるというもの。集まった児童らは完成図を想像しながら楽しそうにガラスの器いっぱい模様を付けていました。

◀シールやペンを使って模様を付ける児童



これが日本トップレベルの実力

オリンピック選手を輩出するなど国内外で活躍する(株)デンソー（愛知県刈谷市）の女子ボート部（西尾久也監督・恵那市出身）が8月17日～20日までの間、恵那峡ダム湖で練習に取り組みました。恵那峡ダム湖では恵那高ボート部も練習をしており、日本トップレベルの選手と肩を並べて練習した恵那高ボート部田口僚久キャプテンは「こぎ方がきれいで力強い。あんなこぎ方がしたい」と刺激を受けていました。

◀練習に出発するデンソー・恵那高ボート部選手

今が旬！親子でトマト料理

8月19日、山岡公民館でトマト料理教室が開催され、山岡学童保育の親子15人が参加しました。講師には山岡トマト婦人部の皆さんを迎え、トマトと豚肉のからし酢あえ、トマトのふわふわ炒めなど6品に挑戦。参加した子どもは低学年が多く、初めて包丁を使って切ることや、トマトの皮の湯むきを体験しました。子どもらは「おいしいね」と作り上げた料理に大満足。また講師に「トマトの種はいつまくの？」など質問をしていました。

湯むきしたミニトマトでデザートを作る子どもたち▶



夜空に響く田んぼコンサート

8月19日、明智町下田良子地区で「田んぼの中のコンサート」が開催されました。下田良子地区20軒で始めたコンサートは今回で5回目を迎え、今年も初回から参加しているこの地区出身の大桑ひとみさんらによるピアノとヴァイオリンの演奏のほか、3組のミュージシャンが演奏や歌を披露しました。

また会場はたくさんの「ぼんぼり」が置かれ、幻想的な雰囲気の中、流れる音色や歌声に訪れた約250人は魅了されました。

◀田んぼや山々に「トゥーランドット」が心地よく響く



3水系3ダムを見る

市職員が市内全域を理解し行政サービスに役立てようと立ち上げ勉強会を続けてきた「恵那市をしるまい会」が8月5日、市民参加型の勉強会を開催しました。初の試みとなった今回は、阿木川ダム、小里川ダム、矢作ダムの3ダムを見学するバスツアーが催され、市民と職員合わせて約100人が参加。東濃地方や東海地方の暮らし・産業を支え、災害の被害を抑制するなど重要な役割を果たしているダムを細部まで見学しました。

◀小里川ダムを見上げる参加者

大正100年に向け準備会

8月9日、明智町の大正ロマン館で司葉子大正村村長や可知市長ら30人が出席し「大正100周年記念事業準備委員会」の初会合が開かれました。委員会は、恵那商工会議所や観光協会、自治連合会などの役員で組織され、委員長に鎌田満恵那商工会議所会頭を選出。大正元年から数えて「大正100年」の平成23年に向けて事業を企画し、交流人口の拡大などを進めます。14日には、95周年を記念して無声喜劇映画や蓄音機の鑑賞会が開かれました。

大正ロマン館で無声映画を鑑賞する皆さん▶



フォーク歌謡でPR

8月13日、恵那文化センターとサンホールくしはらで、ふるさと応援歌「ささゆりの里」発表歌謡祭が開催され約900人が来場しました。昭和62年に作られた串原村民歌「くしはら風の恋歌」を歌手の嶺陽子さんが歌い、12万枚売り上げており、今回もフォーク歌謡「ささゆりの里」を全国にPRしようと、市民へ披露しました。また曲のワンポイントレッスンや、串原の特産品などが当たる抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

◀曲のレッスンをする作曲家の池田先生と嶺陽子さん④

